

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
日向市	日向市立東郷病院	8
串間市	市民病院	9
えびの市	市立病院	10
高原町	国保高原病院	11
都農町	都農町国民健康保険病院	12
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	13
美郷町	西郷病院	14
高千穂町	国保病院	15
日之影町	国保病院	16
五ヶ瀬町	国保病院	17

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 宮崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,835 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	486	62.3	75.6	64.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	42	31.5	68.3	67.5
感染症	7	-	-	-
計	535	59.1	74.0	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.3	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	667,631,552	
標準財政規模(千円)	327,214,787	
財政力指数	0.35767	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	103.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,785,193			
1 経常収益	15,528,764			
(1) 医業収益	11,827,968			
入院収益	7,881,004			
外来収益	3,547,769			
診療収入計	11,428,773			
その他医業収益	399,195			
(うち他会計負担金)	293,899			
(2) 医業外収益	3,700,796			
(うち国・都道府県補助金)	35,698			
(うち他会計補助・負担金)	3,075,811			
(うち長期前受金戻入)	527,369			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	256,429			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,514,546			
2 経常費用	15,258,117			
(1) 医業費用	14,604,312			
職員給与費	7,915,159	66.9	62.1	55.8
材料費	3,978,893	33.6	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,477,392	20.9	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,498,555	12.7	11.4	13.0
減価償却費	1,031,873	8.7	9.5	8.7
経費	1,631,753	13.8	22.7	19.7
(うち委託料)	1,357,023	11.5	12.6	12.6
研究研修費	29,725			
資産減耗費	16,909			
(2) 医業外費用	653,805			
(うち支払利息)	32,622	0.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	256,429			
損益				
経常損益	270,647			
純損益	270,647			
累積欠損金	264,527			
経常収支比率	101.8		101.9	102.5
医業収支比率	81.0		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	79.7		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,283,253
1 固定資産	31,941,521
(1) 有形固定資産	29,768,194
(2) 無形固定資産	560,223
(3) 投資その他の資産	1,613,104
2 流動資産	25,341,732
(1) 現金及び預金	2,883,712
(2) 未収金及び未収収益	6,440,481
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	213,883
3 繰延資産	-
負債合計	49,815,066
1 固定負債	23,149,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,548,747
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,400,274
(7) リース債務	200,950
2 流動負債	23,558,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,521,825
(2) その他の企業債	2,351
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,076,102
(6) リース債務	119,322
(7) 一時借入金	6,966,600
(8) 未払金及び未払費用	2,752,393
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,106,353
(1) 長期前受金	42,040,688
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,934,335
資本合計	7,468,187
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,275,209
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,385,685
負債・資本合計	57,283,253
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.0
修正医業収益(千円)	11,534,069

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,234,655	3,369,710
資本勘定繰入	547,167	547,167
計	3,781,822	3,916,877

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名	延岡病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,234 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	406	66.8	75.2	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	410	66.2	74.4	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.3	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	667,631,552	
標準財政規模(千円)	327,214,787	
財政力指数	0.35767	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	103.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,436,080			
1 経常収益	13,242,924			
(1) 医業収益	10,436,890			
入院収益	7,492,716			
外来収益	2,553,642			
診療収入計	10,046,358			
その他医業収益	390,532			
(うち他会計負担金)	290,506			
(2) 医業外収益	2,806,034			
(うち国・都道府県補助金)	10,050			
(うち他会計補助・負担金)	2,224,223			
(うち長期前受金戻入)	554,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	193,156			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,142,332			
2 経常費用	11,949,176			
(1) 医業費用	11,204,004			
職員給与費	5,049,851	48.4	62.1	59.8
材料費	3,438,997	33.0	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,797,201	17.2	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,639,719	15.7	11.4	12.4
減価償却費	877,045	8.4	9.5	8.2
経費	1,797,087	17.2	22.7	19.2
(うち委託料)	1,004,871	9.6	12.6	10.2
研究研修費	21,969			
資産減耗費	19,055			
(2) 医業外費用	745,172			
(うち支払利息)	197,034	1.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	193,156			
損益				
経常損益	1,293,748			
純損益	1,293,748			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.8		101.9	103.7
医業収支比率	93.2		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	18.7		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	89.8		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,283,253
1 固定資産	31,941,521
(1) 有形固定資産	29,768,194
(2) 無形固定資産	560,223
(3) 投資その他の資産	1,613,104
2 流動資産	25,341,732
(1) 現金及び預金	2,883,712
(2) 未収金及び未収収益	6,440,481
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	213,883
3 繰延資産	-
負債合計	49,815,066
1 固定負債	23,149,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,548,747
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,400,274
(7) リース債務	200,950
2 流動負債	23,558,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,521,825
(2) その他の企業債	2,351
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,076,102
(6) リース債務	119,322
(7) 一時借入金	6,966,600
(8) 未払金及び未払費用	2,752,393
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,106,353
(1) 長期前受金	42,040,688
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,934,335
資本合計	7,468,187
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,275,209
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,385,685
負債・資本合計	57,283,253
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.6
修正医業収益(千円)	10,146,384

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,408,259	2,514,729
資本勘定繰入	1,094,500	1,094,500
計	3,502,759	3,609,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 日南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,668 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	277	65.2	81.3	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	281	64.2	80.2	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.6	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	667,631,552	
標準財政規模(千円)	327,214,787	
財政力指数	0.35767	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	103.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,603,733			
1 経常収益	6,160,782			
(1) 医業収益	4,773,328			
入院収益	3,383,748			
外来収益	1,261,342			
診療収入計	4,645,090			
その他医業収益	128,238			
(うち他会計負担金)	49,697			
(2) 医業外収益	1,387,454			
(うち国・都道府県補助金)	45,091			
(うち他会計補助・負担金)	969,450			
(うち長期前受金戻入)	357,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	442,951			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,823,834			
2 経常費用	6,697,351			
(1) 医業費用	6,312,454			
職員給与費	3,328,611	69.7	62.1	66.1
材料費	1,209,476	25.3	25.3	19.8
(うち薬品費)	629,687	13.2	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	578,458	12.1	11.4	9.3
減価償却費	591,969	12.4	9.5	10.2
経費	1,159,870	24.3	22.7	28.2
(うち委託料)	759,380	15.9	12.6	13.6
研究研修費	11,910			
資産減耗費	10,618			
(2) 医業外費用	384,897			
(うち支払利息)	132,315	2.8	1.3	1.6
(3) 特別損失	126,483			
損益				
経常損益	-536,569			
純損益	-220,101			
累積欠損金	9,347,220			
経常収支比率	92.0		101.9	99.9
医業収支比率	75.6		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	15.4		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	76.8		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,283,253
1 固定資産	31,941,521
(1) 有形固定資産	29,768,194
(2) 無形固定資産	560,223
(3) 投資その他の資産	1,613,104
2 流動資産	25,341,732
(1) 現金及び預金	2,883,712
(2) 未収金及び未収収益	6,440,481
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	213,883
3 繰延資産	-
負債合計	49,815,066
1 固定負債	23,149,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,548,747
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,400,274
(7) リース債務	200,950
2 流動負債	23,558,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,521,825
(2) その他の企業債	2,351
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,076,102
(6) リース債務	119,322
(7) 一時借入金	6,966,600
(8) 未払金及び未払費用	2,752,393
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,106,353
(1) 長期前受金	42,040,688
(2) 長期前受金収益化累計額()	38,934,335
資本合計	7,468,187
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,275,209
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,385,685
負債・資本合計	57,283,253
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.8
修正医業収益(千円)	4,723,631

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	960,815	1,019,147
資本勘定繰入	710,809	710,809
計	1,671,624	1,729,956

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		宮崎市			
病院名		宮崎市立田野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,129 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	42	77.6	88.9	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	77.6	88.9	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.1	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	401,339	
決算規模(千円)	220,049,373	
標準財政規模(千円)	89,059,220	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	46.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.7
修正医業収益(千円)	610,445

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,076,106			
1 経常収益	1,014,362			
(1) 医業収益	650,133			
入院収益	426,808			
外来収益	172,669			
診療収入計	599,477			
その他医業収益	50,656			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	364,229			
(うち国・都道府県補助金)	24,477			
(うち他会計補助・負担金)	109,927			
(うち長期前受金戻入)	2,618			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	61,744			
(うち他会計繰入金)	60,069			
総費用	1,072,451			
2 経常費用	1,069,329			
(1) 医業費用	747,376			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	62,225	9.6	9.5	13.0
経費	685,043	105.4	22.7	47.1
(うち委託料)	196,840	30.3	12.6	22.5
研究研修費	48			
資産減耗費	60			
(2) 医業外費用	321,953			
(うち支払利息)	13,739	2.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,122			
損益				
経常損益	-54,967			
純損益	3,655			
累積欠損金	1,210,449			
経常収支比率	94.9		101.9	98.5
医業収支比率	87.0		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	80.9		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,732,287
1 固定資産	1,387,964
(1) 有形固定資産	1,387,964
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	344,323
(1) 現金及び預金	197,303
(2) 未収金及び未収収益	147,414
(3) 貸倒引当金()	394
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,128,527
1 固定負債	963,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	682,116
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	270,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	10,926
2 流動負債	95,393
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,391
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,668
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,782
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	70,092
(1) 長期前受金	92,063
(2) 長期前受金収益化累計額()	21,971
資本合計	603,760
1 資本金	1,814,209
2 剰余金	-1,210,449
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,210,449
負債・資本合計	1,732,287
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,490	209,684
資本勘定繰入	18,002	46,639
計	167,492	256,323

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	186.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	日南市				
病院名	日南市立中部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,377 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	88	69.1	73.5	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	69.1	73.5	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.3	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	50,848	
決算規模(千円)	36,164,910	
標準財政規模(千円)	15,356,190	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	70.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.8
修正医業収益(千円)	1,075,880

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,435,084			
1 経常収益	1,399,583			
(1) 医業収益	1,142,561			
入院収益	734,833			
外来収益	262,866			
診療収入計	997,699			
その他医業収益	144,862			
(うち他会計負担金)	66,681			
(2) 医業外収益	257,022			
(うち国・都道府県補助金)	28,436			
(うち他会計補助・負担金)	187,319			
(うち長期前受金戻入)	31,882			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,501			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,431,737			
2 経常費用	1,395,035			
(1) 医業費用	1,331,158			
職員給与費	877,995	76.8	62.1	78.9
材料費	94,431	8.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,155	2.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,879	4.1	11.4	6.0
減価償却費	102,418	9.0	9.5	11.7
経費	252,812	22.1	22.7	31.2
(うち委託料)	93,721	8.2	12.6	14.3
研究研修費	536			
資産減耗費	2,966			
(2) 医業外費用	63,877			
(うち支払利息)	19,725	1.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	36,702			
損益				
経常損益	4,548			
純損益	3,347			
累積欠損金	201,779			
経常収支比率	100.3		101.9	100.3
医業収支比率	85.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	82.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,137,889
1 固定資産	1,783,819
(1) 有形固定資産	1,783,225
(2) 無形固定資産	594
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	354,070
(1) 現金及び預金	165,049
(2) 未収金及び未収収益	169,362
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	19,559
3 繰延資産	-
負債合計	1,774,299
1 固定負債	1,251,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,167,685
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	84,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	339,154
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,386
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,741
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	130,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	183,460
(1) 長期前受金	1,145,678
(2) 長期前受金収益化累計額()	962,218
資本合計	363,590
1 資本金	525,143
2 剰余金	-161,553
(1) 資本金剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-167,153
負債・資本合計	2,137,889
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	254,000	254,000
資本勘定繰入	30,000	67,042
計	284,000	321,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	小林市				
病院名	小林市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,077 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	143	67.4	59.4	61.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	11.0	-	-
計	147	65.9	57.8	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.9	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	43,670	
決算規模(千円)	34,900,297	
標準財政規模(千円)	14,656,602	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	106.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.1
修正医業収益(千円)	2,148,193

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,932,992			
1 経常収益	2,857,584			
(1) 医業収益	2,275,682			
入院収益	1,647,040			
外来収益	432,920			
診療収入計	2,079,960			
その他医業収益	195,722			
(うち他会計負担金)	127,489			
(2) 医業外収益	581,902			
(うち国・都道府県補助金)	146,330			
(うち他会計補助・負担金)	279,499			
(うち長期前受金戻入)	99,370			
(うち資本費繰入収益)	4,770			
(3) 特別利益	75,408			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,786,851			
2 経常費用	2,732,841			
(1) 医業費用	2,585,591			
職員給与費	1,636,062	71.9	62.1	67.4
材料費	442,680	19.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	288,892	12.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,348	6.6	11.4	8.8
減価償却費	161,729	7.1	9.5	10.7
経費	321,624	14.1	22.7	29.2
(うち委託料)	188,500	8.3	12.6	13.9
研究研修費	5,718			
資産減耗費	17,778			
(2) 医業外費用	147,250			
(うち支払利息)	51,607	2.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	54,010			
損益				
経常損益	124,743			
純損益	146,141			
累積欠損金	1,260,257			
経常収支比率	104.6		101.9	100.3
医業収支比率	88.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,669,081
1 固定資産	3,995,653
(1) 有形固定資産	3,986,624
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	9,029
2 流動資産	673,428
(1) 現金及び預金	213,981
(2) 未収金及び未収収益	421,981
(3) 貸倒引当金()	2,204
(4) 貯蔵品	39,538
3 繰延資産	-
負債合計	5,166,053
1 固定負債	3,569,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,449,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	711,000
(6) 引当金	392,829
(7) リース債務	16,054
2 流動負債	459,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	134,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	65,000
(5) 引当金	102,530
(6) リース債務	4,188
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	144,296
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,136,781
(1) 長期前受金	2,473,073
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,336,292
資本合計	-496,972
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,140,556
(1) 資本金剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,260,257
負債・資本合計	4,669,081
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	496,972
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	406,988	406,988
資本勘定繰入	57,291	57,291
計	464,279	464,279

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				宮崎県
市町村・組合名	日向市			
病院名	日向市立東郷病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	1,228 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	否	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	-	7.7	33.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	-	7.7	33.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	16.5	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	59,629	
決算規模(千円)	38,965,726	
標準財政規模(千円)	16,133,722	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	59.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	20.7
修正医業収益(千円)	55,470

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	267,531			
1 経常収益	266,131			
(1) 医業収益	93,461			
入院収益	-			
外来収益	51,061			
診療収入計	51,061			
その他医業収益	42,400			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	172,670			
(うち国・都道府県補助金)	3,500			
(うち他会計補助・負担金)	165,871			
(うち長期前受金戻入)	908			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	270,018			
2 経常費用	268,618			
(1) 医業費用	268,618			
職員給与費	219,222	234.6	62.1	89.0
材料費	7,314	7.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	4,927	5.3	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,387	2.6	11.4	5.4
減価償却費	8,212	8.8	9.5	13.0
経費	33,464	35.8	22.7	47.1
(うち委託料)	19,649	21.0	12.6	22.5
研究研修費	309			
資産減耗費	97			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	1,400			
経常損益	-2,487			
純損益	-2,487			
累積欠損金	133,372			
経常収支比率	99.1		101.9	98.5
医業収支比率	34.8		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	76.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	218.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	76.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	23.2		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	222,536
1 固定資産	161,454
(1) 有形固定資産	161,111
(2) 無形固定資産	343
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	61,082
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	11,853
(3) 貸倒引当金()	262
(4) 貯蔵品	2,315
3 繰延資産	-
負債合計	24,079
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	18,676
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	13,469
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,933
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,403
(1) 長期前受金	13,053
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,650
資本合計	198,457
1 資本金	288,813
2 剰余金	-90,356
(1) 資本金剰余金	33,016
(2) 利益剰余金	-123,372
負債・資本合計	222,536
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	196,055	203,862
資本勘定繰入	3,723	3,723
計	199,778	207,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	串間市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	56.3	62.8	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	56.3	62.8	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	19.9	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	16,822	
決算規模(千円)	15,986,554	
標準財政規模(千円)	6,684,933	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	55.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.7
修正医業収益(千円)	1,428,678

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,786,687			
1 経常収益	1,745,687			
(1) 医業収益	1,470,063			
入院収益	880,881			
外来収益	499,498			
診療収入計	1,380,379			
その他医業収益	89,684			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	275,624			
(うち国・都道府県補助金)	29,468			
(うち他会計補助・負担金)	163,512			
(うち長期前受金戻入)	53,368			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,087,882			
2 経常費用	2,046,225			
(1) 医業費用	1,888,461			
職員給与費	1,065,131	72.5	62.1	67.4
材料費	238,900	16.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	122,143	8.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,757	7.9	11.4	8.8
減価償却費	118,949	8.1	9.5	10.7
経費	463,091	31.5	22.7	29.2
(うち委託料)	247,392	16.8	12.6	13.9
研究研修費	2,390			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	157,764			
(うち支払利息)	40,324	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	41,657			
損益				
経常損益	-300,538			
純損益	-301,195			
累積欠損金	1,883,239			
経常収支比率	85.3		101.9	100.3
医業収支比率	77.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	75.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,266,536
1 固定資産	2,949,799
(1) 有形固定資産	2,919,741
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	29,680
2 流動資産	316,737
(1) 現金及び預金	28,006
(2) 未収金及び未収収益	282,954
(3) 貸倒引当金()	666
(4) 貯蔵品	6,300
3 繰延資産	-
負債合計	4,249,809
1 固定負債	3,079,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,950,861
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	965,000
(6) 引当金	159,981
(7) リース債務	3,837
2 流動負債	536,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	138,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	57,375
(6) リース債務	9,960
(7) 一時借入金	150,000
(8) 未払金及び未払費用	108,364
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	633,431
(1) 長期前受金	1,488,586
(2) 長期前受金収益化累計額()	855,155
資本合計	-983,273
1 資本金	543,019
2 剰余金	-1,526,292
(1) 資本金剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-1,883,239
負債・資本合計	3,266,536
不良債務	81,136
実質資金不足額	81,136
資金不足額()	983,273
資本不足額(繰延収益控除後)()	349,842
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,897	204,897
資本勘定繰入	55,103	55,103
計	260,000	260,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	81,136	5.5
令和元年度	241,424	15.7
平成30年度	65,293	4.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.1
健全化法上の資金不足額(千円)	81,136
健全化法上の資金不足比率(%)	5.5
地財法上の資金不足額(千円)	81,136
地財法上の資金不足比率(%)	5.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	えびの市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,569 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	51.6	62.4	65.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	51.6	62.4	65.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	29.0	28.0

設立団体の状況		
人口(人)	17,638	
決算規模(千円)	16,534,780	
標準財政規模(千円)	6,547,938	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.4
修正医業収益(千円)	474,050

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	854,181			
1 経常収益	845,681			
(1) 医業収益	533,217			
入院収益	233,963			
外来収益	220,410			
診療収入計	454,373			
その他医業収益	78,844			
(うち他会計負担金)	59,167			
(2) 医業外収益	312,464			
(うち国・都道府県補助金)	109,645			
(うち他会計補助・負担金)	192,670			
(うち長期前受金戻入)	4,788			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,500			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	865,367			
2 経常費用	856,867			
(1) 医業費用	825,192			
職員給与費	494,190	92.7	62.1	78.9
材料費	149,738	28.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	129,582	24.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,899	3.5	11.4	6.0
減価償却費	35,090	6.6	9.5	11.7
経費	144,536	27.1	22.7	31.2
(うち委託料)	72,274	13.6	12.6	14.3
研究研修費	292			
資産減耗費	1,346			
(2) 医業外費用	31,675			
(うち支払利息)	428	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	8,500			
損益				
経常損益	-11,186			
純損益	-11,186			
累積欠損金	714,384			
経常収支比率	98.7		101.9	100.3
医業収支比率	64.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	69.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	878,032
1 固定資産	426,123
(1) 有形固定資産	425,595
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	451,909
(1) 現金及び預金	273,775
(2) 未収金及び未収収益	165,147
(3) 貸倒引当金()	180
(4) 貯蔵品	12,167
3 繰延資産	-
負債合計	527,191
1 固定負債	330,988
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,449
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	324,539
(7) リース債務	-
2 流動負債	127,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,370
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,236
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	68,317
(1) 長期前受金	137,069
(2) 長期前受金収益化累計額()	68,752
資本合計	350,841
1 資本金	1,046,496
2 剰余金	-695,655
(1) 資本金剰余金	3,153
(2) 利益剰余金	-698,808
負債・資本合計	878,032
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	251,837	251,837
資本勘定繰入	12,412	12,412
計	264,249	264,249

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	高原町				
病院名	国保高原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,051 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	55.5	45.4	67.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	55.5	45.4	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		26.1	23.2	24.2

設立団体の状況		
人口(人)	8,639	
決算規模(千円)	7,881,880	
標準財政規模(千円)	3,478,603	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,037,726			
1 経常収益	961,098			
(1) 医業収益	601,941			
入院収益	316,813			
外来収益	183,308			
診療収入計	500,121			
その他医業収益	101,820			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	359,157			
(うち国・都道府県補助金)	201,926			
(うち他会計補助・負担金)	133,103			
(うち長期前受金戻入)	20,184			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76,628			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	971,841			
2 経常費用	961,041			
(1) 医業費用	918,169			
職員給与費	478,697	79.5	62.1	78.9
材料費	71,001	11.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	31,822	5.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,642	6.3	11.4	6.0
減価償却費	50,736	8.4	9.5	11.7
経費	313,746	52.1	22.7	31.2
(うち委託料)	110,686	18.4	12.6	14.3
研究研修費	3,126			
資産減耗費	863			
(2) 医業外費用	42,872			
(うち支払利息)	19,026	3.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	10,800			
損益				
経常損益	57			
純損益	65,885			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	65.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	82.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,354,312
1 固定資産	1,151,439
(1) 有形固定資産	1,151,179
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	260
2 流動資産	202,873
(1) 現金及び預金	13,451
(2) 未収金及び未収収益	185,847
(3) 貸倒引当金()	5,117
(4) 貯蔵品	8,692
3 繰延資産	-
負債合計	1,063,019
1 固定負債	780,947
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	780,947
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	205,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,407
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	36,028
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	76,800
(1) 長期前受金	416,744
(2) 長期前受金収益化累計額()	339,944
資本合計	291,293
1 資本金	32,012
2 剰余金	259,281
(1) 資本金剰余金	29,435
(2) 利益剰余金	229,846
負債・資本合計	1,354,312
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.4
修正医業収益(千円)	563,950

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,094	171,094
資本勘定繰入	34,740	36,940
計	205,834	208,034

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	都農町				
病院名	都農町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,716 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救感		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	61	43.8	58.4	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	24.7	-	-
計	65	42.6	54.8	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	13.3	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	9,906	
決算規模(千円)	25,093,032	
標準財政規模(千円)	3,646,618	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	604,572

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,050,229			
1 経常収益	841,703			
(1) 医業収益	642,420			
入院収益	304,493			
外来収益	231,086			
診療収入計	535,579			
その他医業収益	106,841			
(うち他会計負担金)	37,848			
(2) 医業外収益	199,283			
(うち国・都道府県補助金)	35,656			
(うち他会計補助・負担金)	89,222			
(うち長期前受金戻入)	69,633			
(うち資本費繰入収益)	646			
(3) 特別利益	208,526			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	953,553			
2 経常費用	930,753			
(1) 医業費用	898,421			
職員給与費	510,328	79.4	62.1	78.9
材料費	82,784	12.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	25,948	4.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,800	7.8	11.4	6.0
減価償却費	118,598	18.5	9.5	11.7
経費	185,788	28.9	22.7	31.2
(うち委託料)	96,321	15.0	12.6	14.3
研究研修費	363			
資産減耗費	560			
(2) 医業外費用	32,332			
(うち支払利息)	5,562	0.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	22,800			
損益				
経常損益	-89,050			
純損益	96,676			
累積欠損金	250,182			
経常収支比率	90.4		101.9	100.3
医業収支比率	71.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	76.8		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,276,107
1 固定資産	1,784,153
(1) 有形固定資産	1,784,153
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	491,954
(1) 現金及び預金	338,723
(2) 未収金及び未収収益	143,835
(3) 貸倒引当金()	1,722
(4) 貯蔵品	11,118
3 繰延資産	-
負債合計	2,109,360
1 固定負債	1,722,532
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,528,247
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	194,285
(7) リース債務	-
2 流動負債	161,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	87,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,883
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,612
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	225,795
(1) 長期前受金	824,650
(2) 長期前受金収益化累計額()	598,855
資本合計	166,747
1 資本金	376,460
2 剰余金	-209,713
(1) 資本金剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	-250,182
負債・資本合計	2,276,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	127,070	127,070
資本勘定繰入	69,313	69,313
計	196,383	196,383

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	椎葉村				
病院名	椎葉村国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	43.1	52.0	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	43.1	52.0	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	19.0	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,503	
決算規模(千円)	7,007,523	
標準財政規模(千円)	2,995,815	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	83.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.5
修正医業収益(千円)	303,384

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	492,001			
1 経常収益	489,151			
(1) 医業収益	339,678			
入院収益	122,228			
外来収益	160,014			
診療収入計	282,242			
その他医業収益	57,436			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	149,473			
(うち国・都道府県補助金)	26,363			
(うち他会計補助・負担金)	102,852			
(うち長期前受金戻入)	19,115			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	495,088			
2 経常費用	492,238			
(1) 医業費用	470,463			
職員給与費	294,910	86.8	62.1	89.0
材料費	82,994	24.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	66,760	19.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,671	4.0	11.4	5.4
減価償却費	37,247	11.0	9.5	13.0
経費	53,984	15.9	22.7	47.1
(うち委託料)	21,267	6.3	12.6	22.5
研究研修費	197			
資産減耗費	1,131			
(2) 医業外費用	21,775			
(うち支払利息)	6,390	1.9	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,850			
損益				
経常損益	-3,087			
純損益	-3,087			
累積欠損金	289,458			
経常収支比率	99.4		101.9	98.5
医業収支比率	72.2		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	28.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	41.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	28.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	71.1		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,124,004
1 固定資産	577,283
(1) 有形固定資産	577,283
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	546,721
(1) 現金及び預金	491,317
(2) 未収金及び未収収益	54,346
(3) 貸倒引当金()	249
(4) 貯蔵品	1,307
3 繰延資産	-
負債合計	314,378
1 固定負債	90,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,000
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	60,398
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,578
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,947
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,832
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	163,980
(1) 長期前受金	289,193
(2) 長期前受金収益化累計額()	125,213
資本合計	809,626
1 資本金	1,072,455
2 剰余金	-262,829
(1) 資本金剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-289,458
負債・資本合計	1,124,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,304	139,146
資本勘定繰入	18,186	18,186
計	180,490	157,332

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	美郷町				
病院名	西郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,783 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	29	78.4	69.1	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	78.4	69.1	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	19.9	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	4,826	
決算規模(千円)	9,363,926	
標準財政規模(千円)	4,799,584	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.5
修正医業収益(千円)	387,194

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	629,425			
1 経常収益	629,425			
(1) 医業収益	423,488			
入院収益	180,694			
外来収益	181,491			
診療収入計	362,185			
その他医業収益	61,303			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	205,937			
(うち国・都道府県補助金)	1,779			
(うち他会計補助・負担金)	186,024			
(うち長期前受金戻入)	13,800			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	684,284			
2 経常費用	684,284			
(1) 医業費用	661,954			
職員給与費	430,330	101.6	62.1	89.0
材料費	84,416	19.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	53,548	12.6	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,449	6.0	11.4	5.4
減価償却費	42,874	10.1	9.5	13.0
経費	103,747	24.5	22.7	47.1
(うち委託料)	26,653	6.3	12.6	22.5
研究研修費	219			
資産減耗費	368			
(2) 医業外費用	22,330			
(うち支払利息)	4,633	1.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-54,859			
純損益	-54,859			
累積欠損金	130,212			
経常収支比率	92.0		101.9	98.5
医業収支比率	64.0		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	35.3		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	52.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	35.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	59.5		89.3	64.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	917,702
1 固定資産	482,406
(1) 有形固定資産	481,822
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	360
2 流動資産	435,296
(1) 現金及び預金	367,660
(2) 未収金及び未収収益	63,707
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,929
3 繰延資産	-
負債合計	422,430
1 固定負債	216,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,863
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	75,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,296
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,095
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,355
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	129,719
(1) 長期前受金	256,201
(2) 長期前受金収益化累計額()	126,482
資本合計	495,272
1 資本金	616,984
2 剰余金	-121,712
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-121,712
負債・資本合計	917,702
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,318	222,318
資本勘定繰入	25,547	19,000
計	247,865	241,318

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	高千穂町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,351 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	88.1	90.6	87.8
療養	60	65.1	79.2	67.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	76.6	84.9	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	21.0	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	11,642	
決算規模(千円)	10,470,141	
標準財政規模(千円)	4,906,279	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,196,701			
1 経常収益	2,152,210			
(1) 医業収益	1,880,894			
入院収益	971,708			
外来収益	807,308			
診療収入計	1,779,016			
その他医業収益	101,878			
(うち他会計負担金)	49,736			
(2) 医業外収益	271,316			
(うち国・都道府県補助金)	84,746			
(うち他会計補助・負担金)	130,162			
(うち長期前受金戻入)	19,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,491			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,250,117			
2 経常費用	2,206,517			
(1) 医業費用	2,063,557			
職員給与費	1,239,058	65.9	62.1	67.4
材料費	288,804	15.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	140,283	7.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	148,504	7.9	11.4	8.8
減価償却費	156,664	8.3	9.5	10.7
経費	375,883	20.0	22.7	29.2
(うち委託料)	208,181	11.1	12.6	13.9
研究研修費	2,410			
資産減耗費	738			
(2) 医業外費用	142,960			
(うち支払利息)	29,337	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	43,600			
損益				
経常損益	-54,307			
純損益	-53,416			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.5		101.9	100.3
医業収支比率	91.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,987,188
1 固定資産	3,150,279
(1) 有形固定資産	3,081,206
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	68,695
2 流動資産	836,909
(1) 現金及び預金	538,230
(2) 未収金及び未収収益	279,683
(3) 貸倒引当金()	300
(4) 貯蔵品	19,296
3 繰延資産	-
負債合計	2,118,348
1 固定負債	1,142,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,090,942
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	51,405
2 流動負債	345,223
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,780
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,965
(6) リース債務	19,618
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	90,128
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	630,778
(1) 長期前受金	1,175,525
(2) 長期前受金収益化累計額()	544,747
資本合計	1,868,840
1 資本金	709,586
2 剰余金	1,159,254
(1) 資本金剰余金	283,634
(2) 利益剰余金	875,620
負債・資本合計	3,987,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	1,831,158

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,821	179,898
資本勘定繰入	121,978	120,102
計	347,799	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮崎県	
市町村・組合名	日之影町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,378 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	53.4	45.4	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	53.4	45.4	51.8
平均在院日数(一般病床のみ)		32.3	25.5	24.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,635	
決算規模(千円)	7,309,385	
標準財政規模(千円)	2,944,312	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	85.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	9.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	642,366			
1 経常収益	630,445			
(1) 医業収益	457,222			
入院収益	191,506			
外来収益	206,373			
診療収入計	397,879			
その他医業収益	59,343			
(うち他会計負担金)	33,835			
(2) 医業外収益	173,223			
(うち国・都道府県補助金)	12,417			
(うち他会計補助・負担金)	153,967			
(うち長期前受金戻入)	4,203			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,921			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	640,962			
2 経常費用	628,041			
(1) 医業費用	599,772			
職員給与費	351,679	76.9	62.1	78.9
材料費	108,779	23.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	96,406	21.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,373	2.7	11.4	6.0
減価償却費	39,116	8.6	9.5	11.7
経費	99,193	21.7	22.7	31.2
(うち委託料)	67,013	14.7	12.6	14.3
研究研修費	429			
資産減耗費	576			
(2) 医業外費用	28,269			
(うち支払利息)	4,554	1.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	12,921			
損益				
経常損益	2,404			
純損益	1,404			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	76.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	41.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	70.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,128,175
1 固定資産	733,744
(1) 有形固定資産	714,280
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	19,353
2 流動資産	394,431
(1) 現金及び預金	290,945
(2) 未収金及び未収収益	102,059
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,427
3 繰延資産	-
負債合計	474,676
1 固定負債	314,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	313,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	172
2 流動負債	83,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,321
(6) リース債務	559
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,815
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	77,533
(1) 長期前受金	145,409
(2) 長期前受金収益化累計額()	67,876
資本合計	653,499
1 資本金	560,693
2 剰余金	92,806
(1) 資本金剰余金	1,802
(2) 利益剰余金	91,004
負債・資本合計	1,128,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.6
修正医業収益(千円)	423,387

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,802	187,802
資本勘定繰入	42,658	13,399
計	230,460	201,201

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	五ヶ瀬町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	36	54.5	56.4	61.8
療養	18	70.7	71.0	60.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	59.9	61.3	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	17.8	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,472	
決算規模(千円)	6,055,039	
標準財政規模(千円)	2,492,341	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	580,943			
1 経常収益	567,343			
(1) 医業収益	407,051			
入院収益	229,470			
外来収益	119,658			
診療収入計	349,128			
その他医業収益	57,923			
(うち他会計負担金)	37,500			
(2) 医業外収益	160,292			
(うち国・都道府県補助金)	32,451			
(うち他会計補助・負担金)	123,311			
(うち長期前受金戻入)	3,087			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	603,955			
2 経常費用	585,906			
(1) 医業費用	555,363			
職員給与費	326,983	80.3	62.1	78.9
材料費	36,508	9.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	16,877	4.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,631	4.8	11.4	6.0
減価償却費	23,174	5.7	9.5	11.7
経費	167,089	41.0	22.7	31.2
(うち委託料)	63,445	15.6	12.6	14.3
研究研修費	396			
資産減耗費	1,213			
(2) 医業外費用	30,543			
(うち支払利息)	6,079	1.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	18,049			
損益				
経常損益	-18,563			
純損益	-23,012			
累積欠損金	25,023			
経常収支比率	96.8		101.9	100.3
医業収支比率	73.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	27.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	69.4		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,191,188
1 固定資産	766,849
(1) 有形固定資産	765,978
(2) 無形固定資産	871
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	424,339
(1) 現金及び預金	338,031
(2) 未収金及び未収収益	81,129
(3) 貸倒引当金()	1,004
(4) 貯蔵品	5,178
3 繰延資産	-
負債合計	612,319
1 固定負債	342,836
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	342,836
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	119,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,555
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,641
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	44,360
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,927
(1) 長期前受金	204,316
(2) 長期前受金収益化累計額()	54,389
資本合計	578,869
1 資本金	248,796
2 剰余金	330,073
(1) 資本金剰余金	353,786
(2) 利益剰余金	-23,713
負債・資本合計	1,191,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.5
修正医業収益(千円)	369,551

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	160,811	160,811
資本勘定繰入	7,019	7,019
計	167,830	167,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。